

(10) 外国語

ア 学習指導要領改訂の趣旨及び要点

ア) 導入の趣旨

- 導入の趣旨は、主に次の3点である。
 - ・ これまでの外国語活動では児童の高い学習意欲、中学生の外国語教育に対する積極性の向上といった成果が認められているが、一方で、より体系的な学習が求められている。
 - ・ 学年が上がるにつれて児童生徒の学習意欲に課題が生じる、学校種間の接続が十分とは言えない等、学習内容や指導方法等を発展的に生かすことができていない。
 - ・ これらの成果と課題を踏まえ、高学年からの発達の段階に応じて総合的・系統的に扱う教科学習を行うとともに、中学校への接続を図ることを重視することとしている。

イ) 改訂の要点

a 目標の改善

- 改訂前の高学年の外国語活動と比べて改善・充実された点は、次の3点である。
 - ・ 外国語の語彙や文法等の知識を理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
 - ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、聞いたり話したりするとともに、推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
 - ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

b 内容構成の改善

- 内容構成として整理された点は、次の1点である。
 - ・ 小・中・高等学校と通じた領域別の目標の下で、内容について体系的に構成を整理した。

c 内容・学習指導の改善・充実

- 内容として改善・充実された点は、次の2点である。
 - ・ 知識及び技能については、外国語活動の内容を踏まえ、「読むこと」、「書くこと」に慣れ親しむことを加え、実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な技能を身に付ける。
 - ・ 思考力、判断力、表現力等については、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の気持ちや考えを伝え合うことができるよう指導する。

- 学習指導として改善・充実された点は、次の3点である。
 - ・ 言語材料は発達の段階に応じて、児童が受容するものと発信するものがあることに留意して、指導する。
 - ・ 推測しながら読むことにつながるよう、音と文字を関連付けて指導する。
 - ・ 文及び文構造の指導は、文法用語や用法の指導を行うのではなく、言語活動の中で繰り返し触れることを通して指導する。

イ 指導計画作成のポイント

- 主な留意点は、次の9点である。
 - ・ 中学年（第3学年及び第4学年）、中学校、高等学校との接続に留意する。
 - ・ 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする。
 - ・ 児童がコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、英語の音声や表現などの知識を、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと）における実際のコミュニケーションの場面で活用する学習の充実を図る。
 - ・ 学年ごとの目標を適切に定め、2学年間を通じて外国語科の目標の実現を図る。
 - ・ 中学年で扱った学習内容を繰り返し指導し、定着を図る。
 - ・ 児童が英語に多く触れることが期待される英語学習の特質を踏まえ、短時間での指導を行う場合は、指導の効果を高めるよう工夫する。
 - ・ 言語活動で扱う題材は、他教科や学校行事との関連を図るなどの工夫をする。
 - ・ 障害のある児童などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行う。
 - ・ ネイティブ・スピーカーや地域人材などの協力を得る等、指導体制の充実を図る。
- 内容の取扱いについての主な配慮事項は次の8点である。
 - ・ 言語材料については児童の発達の段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導する。
 - ・ 音声指導に当たっては日本語との違いに留意する。また、音声と文字を関連付けて指導する。
 - ・ 日本語との語順の違いに気付いたり、文や文構造について学ぶ指導を工夫する。
 - ・ 文法用語や用法の指導に偏ることがないように配慮して、指導する。
 - ・ 学習形態や、個々の児童の特性に応じて指導内容や指導方法を工夫する。
 - ・ 視聴覚教材やコンピュータ、教育機器などを有効活用する。
 - ・ 児童が学習の見通しを立てたり、振り返ったりすることができるようにする。
 - ・ 道徳科などとの関連を考慮しながら、外国語科の特質に応じて適切な指導をする。